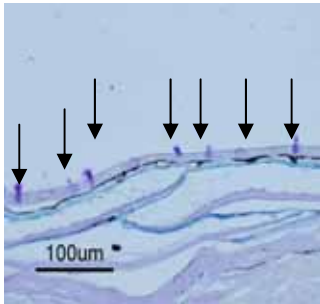
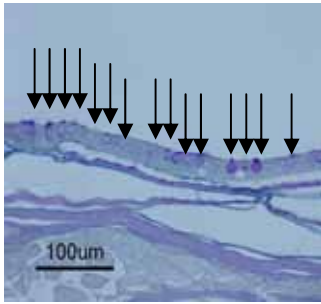



氏名	岩崎 大
出身地	静岡県駿東郡
自己PR	思い立ったが吉日
趣味	読書・バスケ・旅行・焼酎・ヒラメの世話・実験・映画鑑賞・伊豆めぐり
特技	バスケット・素潜り・ヒラメの解剖
マイブーム	ラクトフェリン・Jazz・ダイソン
好きな生物	ヒラメ
将来の夢	学士課程を無事に終えること。そしてその後修士課程を無事修了し、論文を出すことで社会に貢献した後、社会人として立派にやっていく！
研究テーマ	<p>「ラクトフェリンの経口投与によるヒラメのストレス軽減」</p> <p>人間と同様に魚もストレスを感じ、ストレス 疲弊 疾病という図が養殖場などでは通常みられるという。昔なら、病気になった魚に抗生物質や、ホルマリンといった薬剤を投与することで治療してきたが、現在では環境に影響があることから多くの薬剤の使用が法律で規制されている。すなわち、安く効率の良い治療が難しい時代に入ったといえる。</p> <p>そこで卒論研究では、「病気を治すことから予防すること」を主眼として、魚が元々有している生体防御能力を向上させる免疫賦活剤(ラクトフェリン)の研究に取り組んでいる。</p> <p>ラクトフェリンは牛乳や母乳に含まれる免疫賦活剤で、細菌の成長に必要な鉄と強い結合能力があり細菌の成長を阻害すること、さらにラクトフェリン自体にも抗菌能があることで知られている。このラクトフェリンを魚に投与することで、ストレス軽減の作用も報告されている。しかし、ストレス軽減に関する報告は少なく、その作用機構も明らかではない。そこで、ラクトフェリンを餌に混ぜて与えたヒラメにストレスを与えることで、ラクトフェリンの効果や作用機構を解明を目指している。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>ストレス前のヒラメの皮膚</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ストレス後のヒラメの皮膚</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ストレスを与えたヒラメでは皮膚の粘液細胞数が増えるんだ。さて、ラクトフェリンを与えると？</p>  </div> </div>